



市民感覚と離れた郡和子市長の 海外出張のビジネスクラスを含む航空券代計約837万円! マッサージ機付高級市長公用車 約851万円!

令和7年第2回定例会(6月18日)本会議の一般質問にて、
郡和子仙台市長の公費支出と教育行政の課題について質しました。

郡市長の海外出張におけるビジネスクラス利用や高額な公用車の購入が、市民感覚とかけ離れているのではと指摘。今年4月のパリ出張では、市長の航空券が104万5,000円で、同行職員約3.2倍。2023年1月から2025年4月までの郡市長の海外出張は計10回で市長の航空券に要した費用は合計約837万円にものぼります。さらに、新たに導入された市長専用公用車 最上級グレードのエグゼクティブラウンジ約851万円に対しても市民の疑問の声が寄せられています。物価高騰に直面する市民の暮らしと乖離したこうした高額支出に、「優先順位が違うのでは」との声が広がっています。富山県高岡市では市民の批判を受け、旅費のルールの見直しが検討されており、本市も説明責任を果たす体制づくりが求められます。

またいじめ対応の遅れが 郡市政のいじめ対策は失敗では?

また、市立小学校で発生したいじめ事案では、女子児童がいじめにより長期欠席となったにもかかわらず、学校や教育委員会が「重大事態」として正式に対応しないまま、保護者の申立でようやく動き出すという深刻な遅れが明らかになりました。こうした事案は他にも存在し、ガイドラインの徹底不足と教育委員会の対応の甘さが原因です。重大事態申立様式の公開や、いじめ防止法とガイドラインの理解徹底など、抜本的な対策を求めました。

また、市立小学校で発生したいじめ事案では、女子児童がいじめにより長期欠席となったにもかかわらず、学校や教育委員会が「重大事態」として正式に対応しないまま、保護者の申立でようやく動き出すという深刻な遅れが明らかになりました。こうした事案は他にも存在し、ガイドラインの徹底不足と教育委員会の対応の甘さが原因です。重大事態申立様式の公開や、いじめ防止法とガイドラインの理解徹底など、抜本的な対策を求めました。



仙台市議会議員
伊藤ゆうた

ご意見・お問い合わせは
✉ info@itoyuta.com

市議会でのいじめ対応について継続的に取り上げる▲

- 経済環境委員会委員
- 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会委員
- 会派名：市民の会